

ごあいさつ



秋田市長
佐竹 敬久
Norihisa Satake

本日、秋田市建都400年記念式典にご臨席いただきまして心より感謝申し上げます。

平成16年、2004年は、初代秋田藩主・佐竹義宣公が、久保田城に入城し、今日の秋田市の原型が築かれてから、ちょうど400年目にあたります。秋田市では、この記念すべき節目の年を、未来のまちづくりへの実りある出発点とするため、「歴史を想い」「今日を祝い」「未来へ遺す」の基本理念のもと、秋田市建都400年記念事業実行委員会を中心とし、様々な記念事業を計画・開催してまいりました。

本日の記念式典が、国内外のご来賓、そしてたくさんの市民のご臨席により挙行されますことは、本市が歩んできた歴史の重さと全国・世界に培ってきた心の絆の豊かさを物語るものであり、大いに誇るべきことと感じております。

秋田市は、平成17年1月11日、河辺・雄和両町との合併により、新しい秋田市としてスタートすることとなりました。まさに、建都400年の節目の年が、秋田市にとって大きな歴史の区切りであり、新たな出発点となるものであります。

まちづくりは無限のバトンリレーです。長い歴史のなかではぐくまれてきた有形・無形の優れた社会資産をしっかりと受け継ぎ、未来に伝えるべき豊かな郷土秋田を築いていくことが、今を生きる私たちの役割であります。

建都400年記念事業が契機となり、様々な新しい市民力が芽吹き、その芽が建都500年に向かう秋田市のさらなる発展を支える大樹となることを祈念し、あいさつといたします。



実行委員長
小玉 得太郎
Tokutarō Kodama

私たちの秋田市は、今年、建都400年の節目の年を迎えました。この記念すべき年を幅広い市民の参加によりお祝いすることを目的に、秋田市建都400年記念事業実行委員会が設立され、これまで、様々なイベント・記念事業を開催してまいりました。

本日の記念式典は、記念事業の集大成と言うべきものであり、たくさんの市民が出演し、参加する、まさに市民による式典であります。

歌・舞踊・映像などで400年の歩みを振り返る第1部、厳粛さのなかにも華やかさを添えたセレモニーによる第2部、秋田の明日を担う子供たちの元気いっぱいステージが繰り広げられる第3部、これら3部構成により、「歴史を想い」「今日を祝い」「未来へ遺す」という建都400年記念事業の基本理念を表現しております。

建都400年は、歴史の節目であると同時に、新たな発展へのスタートでもあります。

本式典の開催を通じ、このような私ども実行委員会の思いを、たくさんの方々にお伝えできますことを願っております。

歴史を想い
今日を祝い
未来へ遺す



秋田市建都400年記念式典プログラム

時間	プログラム
	司 会：有坂浩大(秋田県立秋田高等学校) 英語 司 会：武田華純(国際教養大学) アシスタント：阿部律子
15:00	開 幕
	◆エレクトーン演奏：作曲・演奏 加曾利康之
15:05	第1部「歴史を想うステージ」 音楽やダンス、映像等で400年の歴史を表現するミュージカル仕立てのステージ
	◆ステージ構成 第1幕…「佐竹入部から国づくりの情景」 第2幕…「幕末から明治の情景」 第3幕…「大正から戦前の情景」 第4幕…「戦後から昭和そして平成の情景」
	出 演 ・ダンスアベニュースタジオS(ダンス) ・羽川 正(合唱指揮) ・七海 ゆかり(ピアノ伴奏) ・秋田大学教育文化学部附属中学校合唱部、 秋田少年少女合唱団、コール虹、コンソペーラ(合唱) ・番場 政司(ナビゲーター)
15:40	第2部「今日を祝うステージ」 多くのゲストが見守るなか、400年という歴史的節目を祝うセレモニー
	◆秋田市長あいさつ ◆記念セレモニー 建都400年を記念したプレートを完成させるセレモニー ◆お祝い映像メッセージ 海外の友好・姉妹都市からのビデオメッセージ ◆ファンファーレ：秋田市立秋田商業高等学校吹奏楽部
16:05	第3部「未来へ遺すステージ」 登場するのは秋田市の明るい未来を象徴する子供たち。元気一杯躍動するステージ
	◆一輪車演技：白百合保育園 卒園児・リリドールズ ◆山 谷 番 楽：秋田市立山谷小学校 ◆羽川剣ばやし：秋田市立下浜中学校 ◆竿 燈 ば や し：秋田市立秋田南中学校 ◆土崎港ばやし：秋田市立土崎南小学校 ◆新 秋 田 音 頭：秋田市立旭川小学校、秋田市立土崎南小学校 ◆ヤートセ踊り：秋田市立金足西小学校 ～フィナーレ～
16:40	閉 幕